

閉会あいさつ

小池 聖一

今日は、大濱先生、伊藤先生、本当にどうもありがとうございます。それから、木田先生、森戸先生ご夫妻、檜山先生、みなさん、御参加くださり、ありがとうございます。

今日はたくさんの方に来ていただきました。私どもは身が細る思いです。

私どもの文書館は、できてまだ半年しか経っておりませんし、全学のなかで一番小さな組織です。ただ若いですので、入れものを入れるポケットが大きい。まだ若いですから、たくさん入るだろうと。我々の心のポケットも、頭のポケットも、そして文書館のポケットも大きいというふうに考えております。小さな組織ですけれども、少しこぎれいにしておりますので、ぜひ文書館のほうに来ていただきたいと思えます。

私は文書館の館長ですけれども、まだ若輩ですし、多くの人によって助けられております。いま、ここにいる大学史資料室室長の小宮山

さん、公文書室の主任をやっている菅さん、事務をやっていたいでいる中村さん、それから、いま写真をたくさん撮ってくれている、アルバイトをしてくれている仲間たち。そういう点で、多くの人に助けられながらやっております。

また、今日はいろいろな先生にも来ていただきました。ありがとうございます。みなさんに助けられながら、なんとかここまでやってきましたけれども、実はこれからもお願いいたしますということになります。

みなさん、ぜひ私ども文書館のほうに来ていただいて、史料を見ていただく、あるいは私どもに質問をしていただいて、私どもが答えていく。私どもは、研究会などをおしていろんなかたちで参加していく。そういうふうに活動していきたいと思っております。

今日も、大濱先生、伊藤先生、木田先生も含めまして、いろんな方のお話をうかがって、我々はまだまだ勉強しなければならぬ、まだまだ足りないなと思つたしだいでございます。そういった具合に勉強しながら、これから進んでいきたいと思えます。

今日は本当によくの方に来ていただきました。ありがとうございます。今後ともよろしく願います。